

環境研究総合推進費令和 7 年度中間評価個票

研究プロジェクト番号	S-21-4
研究プロジェクト名	統合評価モデルとの連携による全国スケールでのシナリオ分析と社会適用
研究実施期間	2023 年度～2027 年度
テーマ代表機関名	東京大学
テーマリーダー名	橋本 禅

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

全体として計画どおりの進捗があると評価できる。また、再生可能エネルギーの導入と生物多様性保全を統合的に扱い、保全優先地として OECM 適地を評価するなど環境行政に貢献する成果をあげている。また、全国レベルの解析を中心に、多様性、再エネ、自然災害の観点から、コンフリクトを検討されており、興味深い。太陽光については営農型のみが検討されているが、多様性・再エネの観点からも耕作放棄地における太陽光発電の検討が必要ではないか。一方、保護地の候補地とどう違うのかを考えると、管理という人間の要素が分析に含まれるべきではないか。また、空間明示的な国土利用の将来シナリオ作成にあたっては、高分解能のデータを作成する場合に、基になった原データの分解能・信頼度とスケールを変えた際の信頼性や誤差の問題の整理が必要と思われる。